

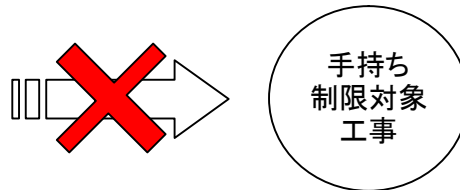
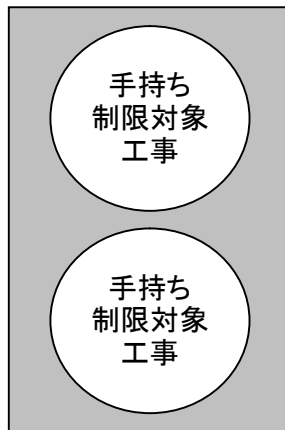
# 優遇措置の適用例

## 1. 手持ち制限の対象外について

※「手持ち制限」とは、土木一式、建築一式、電気、管、塗装及び造園工事のうち、総合評価を除く一般競争入札により発注された工事の案件を2本に制限するもの。

例1

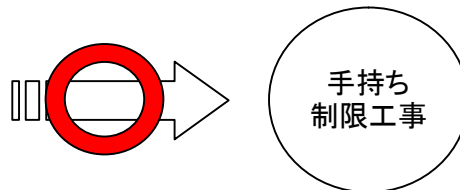
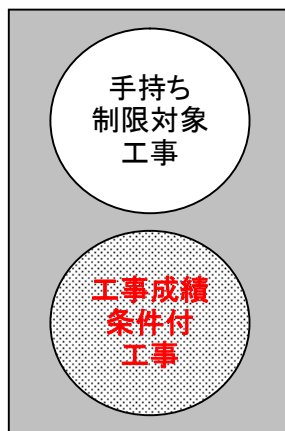
手持ち工事



手持ち制限対象工事を2本受注している場合、新たな手持ち制限対象工事への入札は無効となります。

例2

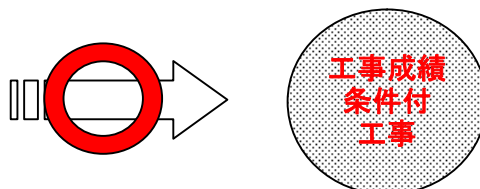
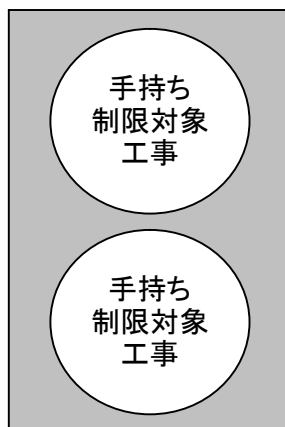
手持ち工事



手持ち制限対象工事と工事成績条件付工事とで合計2本受注していても、工事成績条件付工事は、手持ち本数としてカウントしませんので、手持ち制限対象工事への入札は可能です。

例3

手持ち工事



手持ち制限対象工事を2本受注していても、工事成績条件付工事への入札は可能です。

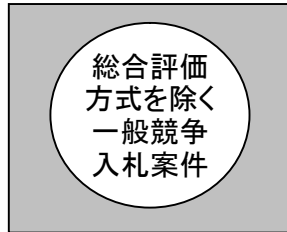
# 優遇措置の適用例

## 2. 同日落札本数制限の対象外について

※ 「同日落札本数制限」とは、同一開札日に落札できる一般競争入札案件を総合評価方式案件とそれ以外の案件をそれぞれ1本に制限するもの。

例1

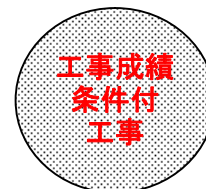
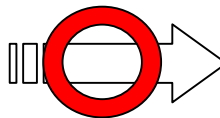
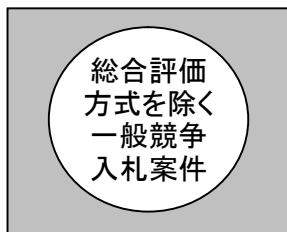
同一開札日で  
落札済の工事



同一開札日に落札できる一般競争入札は総合評価方式案件とそれ以外の案件でそれぞれ1本であるため、以降の案件は落札できません。

例2

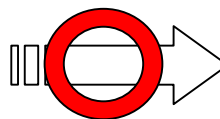
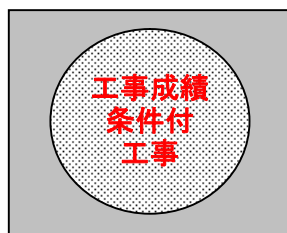
同一開札日で  
落札済の工事



同一開札日に総合評価方式を除く一般競争入札案件を落札していても、工事成績条件付工事の落札は可能です。

例3

同一開札日で  
落札済の工事



同一開札日に工事成績条件付工事を落札していても、以降の総合評価方式を除く一般競争入札案件の落札は可能です。